

盛岡大学紀要

第 38 号

目 次

高橋幸雄	On Coordinated Articulatory Gestures in Phonology	1
新沼史和	Argument Realization and <i>Sar(u)</i> Expression in Kesen	13
ロバート ステイリン・ジェイコブ ピーターセン	E-learning : A Discussion of Two LMS Systems being Used in Japanese Universities	33
小林みゆき	Franz Liszt のオルガン音楽 —コラールに基づく作品を通しての一考察—	47
長田洋一	「童話を題材とした心理劇」を小学校通級指導教室で普及させるための条件整備 —通級担当教員へのアンケート調査と大学生に対する実践を通して—	57
福島正行・佐藤康弘・嶋田真一	「パイプ役」としての学校事務職員に関する一考察 —市町村教育委員会との関係に着目して—	69
山口亮介	音楽実践演習における e ポートフォリオの活用についての考察 —教員養成段階での模擬授業の省察による授業の有効性と課題—	81
福嶋祐貴	授業づくりにおける「学習形態」概念の在り方 —学習過程の組織的側面と方法的側面の関係に着目して—	91
藤田清澄	男性保育者におけるワーク・ライフ・バランス —ある男性保育者のワーク・ライフ・バランスの形成プロセスに着目して—	105
川村 暁・劉 忠達・牛渡克之・吉田等明	ある被験者が楽譜から推定したテンポを機械学習により模擬する —SVM による試み—	113
川村 暁・白藤淳一・森田一浩	1980 年から 1989 年までの全日本吹奏楽コンクール課題曲 5 年分から抽出した主旋律を楽器演奏者が推定したテンポに関する一考察	119
<hr/>		
欧文提要		125
<hr/>		